

学校だより

☆輝き☆

伊達市立星の丘小中学校  
第2号

令和3年5月27日

学校教育目標

- 〈徳〉 やさしく～夢を持ち続ける子の育成  
〈知〉 ただしく～自ら進んで学ぶ子の育成  
〈体〉 たくましく～最後までやりとげる子の育成



## 初等中等教育ワーキング・グループから

校長 高橋 秀壽

緊急事態宣言発令を受けて、本校でも防疫活動を徹底して行っております。本校関係者の皆様、ご理解とご協力をお願いいたします。

今回は硬い話になりますがお付き合いください。「教育再生実行会議初等中等教育ワーキング・グループにおけるこれまでの主な意見の概要」からです。コロナ禍での経験を省察し、今後の教育の方向性を示す内容でした。学校を経営する上で必要だと思う箇所を抜粋しご紹介いたします。

### 1. ニューノーマルにおける新たな学び関係

#### (1) 新たな学びの在り方

- \*VUCA World という予測不可能な時代が来るので、「Society 5.0に向けた学校 ver. 3.0」にあるように、想定外と向き合う力等を育成する必要。教師主導の一斉授業（チョークとトーク）から、子供が学習をコントロールする学力観や授業観の転換が必要で、大学も理念を共有する必要。  
\*Volatility(変動) Uncertainty(不確実) Complexity(複雑) Ambiguity(曖昧)
- GIGA スクール構想を踏まえた教育の情報化・ICT活用の基礎固めや、新学習指導要領（特に主体的・対話的で深い学び）の実施・実現を踏まえて、教育学習のさらなる発展・深化を図ってほしい。
- 時代の変化に対応できる「教授・学習の様式」の変容が求められる。課題発見・問題解決型で体験的・実践的に学び、教科・領域横断型の学び、学校全体・地域も含めた取組が必要。そうした学びを生徒自らができるよう、教師がガイドする必要。
- 幸福度や自己肯定感が低いことや、\*エージェンシー・当事者意識の低い子供たちが育っていることが、教育の最大の問題点で、根底に学力観のずれがある。\*「自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく力」 例) 将来的な目標を見据える力・批判的思考力・現状に疑問を持つ力等

#### (2) 対面と遠隔・オンライン教育

- 観点別評価の中でも、特に主体的に学習に取り組む態度の項目は、「本質的な問い」等がある程度入れないと評価できない。主体的・対話的で深い学びや探究、生徒主導の時間が一定程度必要。ICT活用の評価も、児童生徒の学びの評価に落とし込んで促していく必要。

#### (3) 個別最適な学びと協動的な学びの実現

- 「個別最適な学び」とは、①学習者の特性や学習進度、学習到達度などに応じ、指導方法・教材や学習時間などの柔軟な提供や設定、②自らの学習状況を把握し、学習の進め方について工夫し、調整しながら粘り強く取り組む、③興味・関心に応じ、課題の設定、子供自身による情報の収集、整理、分析、まとめ、表現などを行う、主体的に学習を最適にする学び。指導の個別化や学習の個性化を教師視点から整理したものが「個に応じる指導」であり、学習者の視点から整理した概念が「個別最適な学び」。
- 「協動的な学び」は、①同一学年・学級はもとより、異学年間の学びや他の学校の子供たちの学び合い、②同じ空間で時間をともにすることで感覚を働かせながらお互いに刺激し合う、③様々な場面でリアルな体験を通して共に学ぶということであり、Society5.0の時代こそ一層求められる学び。
- 子供が能動的な学び手になり、\*STEAM教育、実験や体験を重視し、先生はラーニング・オーガナイザーとして学習を組織する存在になる必要。  
\*Science(科学) Technology(技術) Engineering(工学) Art(芸術) Mathematics(数学)

#### (4) デジタル教科書・教材・コンテンツ

- オンライン指導が有効に機能する場でデジタル教科書等を積極的に活用し、対面では学び方を積極的に体験させるカリキュラム・マネジメントが必要。

### 2. 指導体制・環境整備関係

#### (1) 効果、実施手法等

- きめ細かな指導に ICT の学習ログが使えるし、学ぶ力がどこまで育っているかを見るためにも、きめ細かな指導と ICT の活用は同時に検討されるべき。

#### (2) 教育のデータ収集・分析・利活用

- データ取得のために\*CBTを含んだ\*LMSが必須。スタディ・ログだけでなく、ライフ・ログ（出欠、心理状態等）、アシスト・ログ（教員が何をした時に効果があったのか）も取り、教員支援システムを作ることが必要。子供一人一人のユニバーサル ID も必要。  
\*computer based testing \*Learning Management System (学習管理運営システム)

# 春の遠足に行ってきました

素晴らしい青空のもと5月7日（金）に遠足を行いました。小学生はウロコでの買い物学習と館山公園、中学生は昭和新山へと出発しました。

小学生は長い距離をしっかりと歩き通し、途中での買い物学習なども計画どおり実施でき、安全に気を付けて集団で行動することの大切さを学ぶ場面がたくさんありました。目的地の館山公園では、話をしっかりと聞いたり、ルールを守って遊具で楽しく遊んだりすることができました。学校への帰り道も、大きく遅れることもなくみんな頑張って歩き切ることができました。

中学校は、長い距離を歩きますがペース良く歩くことができました。途中、昭和新山の景色を眺めたり、季節の植物などに触れたりしながら、春を感じることができました。また、昼食の時もみんな楽しく過ごすことができ、とても楽しい行事になりました。

今回の教室以外での活動で学んだ事を、普段の学校生活にも生かしてくれることを期待します。



## 緊急事態宣言を踏まえた新型コロナウイルス感染症対策について

全道的に新型コロナウイルス感染症の感染拡大がみられる状況から、国は全道域を5月16日～5月31日まで緊急事態措置区域の対象としました。つきましては、学校でも改めて以下のことに留意して感染拡大防止に努めてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- 消毒・手洗い・換気・マスク着用の徹底
- 健康観察シート等による体調管理
- 「運動会」の規模を縮小し、「小中合同体育」という形で6月4日（金）に実施。
- 小学校の修学旅行を延期（1学期中に実施予定）

# 6月行事予定

- 2日（水）小中合同体育  
尿・ピロリ菌検査（2次）
- 4日（金）定時退勤日
- 7日（月）中部会
- 8日（火）研修日
- 9日（水）きつつきの会（小）  
小部会
- 10日（水）火災避難訓練  
校務部会
- 11日（金）児童生徒会  
月行事調整委員会  
漢字検定（中）
- 14日（月）第1回学校運営協議会
- 15日（火）研修日
- 16日（水）尿・ピロリ菌検査（3次）  
小中部会
- 17日（木）修学旅行（小）延期
- 18日（金）修学旅行（小）延期  
マック昼食  
定時退勤日
- 21日（月）職員会議 実務者会議
- 22日（火）定例校長会 研修日
- 23日（水）修学旅行（中）小部会
- 24日（木）修学旅行（中）
- 25日（金）修学旅行（中）定例教頭会
- 28日（月）児童生徒会  
伊達市学校運営協議会委員研修会